

令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

那珂市教育委員会

全国学力・学習状況調査とは

○ 調査の目的

- ⇒ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ⇒ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ⇒ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○ 調査の対象とする児童生徒

- ⇒ 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年

○ 教科に関する調査

- ⇒ 国語、算数・数学

○ 調査事項・内容

【教科に関する調査(国語、算数・数学)】

- ⇒ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能等
- ⇒ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】

- ⇒ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容

令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈教科に関する現状〉

小学校国語の成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

- 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える。
- 目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
- ◆ 文の中における修飾と被修飾との関係を捉える。
- ▲ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
 - ・丸山さんの【文章の下書き】の中の____部ウを、漢字を使って書き直す。（ころがっている）

小学校算数の成果と課題

- ◇ 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる。
- ◇ 条件に合う時刻を求めることができる。
- ◆ 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる。
- ◆ 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。
- ◆ 示された除法の成果について、日常生活の場面に即して判断することができる。
- ◆ 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、規準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる。
- ▲ 三角形の面積の求め方について理解している。

令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈教科に関する現状〉

中学校国語の成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。
- 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く。
- ◇ 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。
- ◆ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える。
- ◆ 文脈に即して漢字を正しく読む。
 - ・漢字を読む（詳細）

中学校数学の成果と課題

- 相対度数の必要性と意味を理解している。
- ◇ 関数の意味を理解している。
- ◇ データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
- ◇ 平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる。
- ◆ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。

令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校：教科に関する現状〉

○ 各分野ごとの問題の領域

⇒ 各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

【国語】

- ・ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
- ・ 「話すこと・聞くこと」
- ・ 「書くこと」
- ・ 「読むこと」

【算数】

- ・ 「数と計算」
- ・ 「図形」
- ・ 「測定」
- ・ 「変化と関係」
- ・ 「データの活用」

○ 問題形式

⇒ 選択式、短答式、記述式の3種類が出題されている。

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【各領域及び問題形式の主な成果と課題】

- ◇ 国語の「書くこと」の領域で成果が見られる。
- ◇ 国語の「記述式」の問題形式で成果が見られる。
- ◆ 国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域で課題が見られる。
- ◆ 国語の「短答式」の問題形式で課題が見られる。
- ◆ 算数の「数と計算」の領域で課題が見られる。

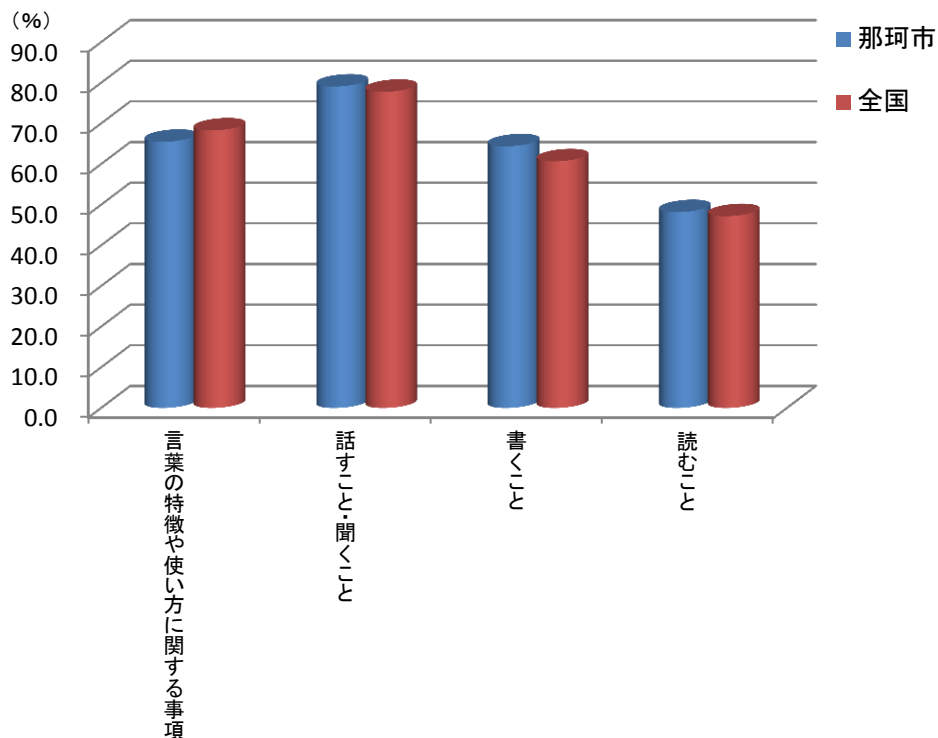
令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校：教科に関する現状〉

小学校

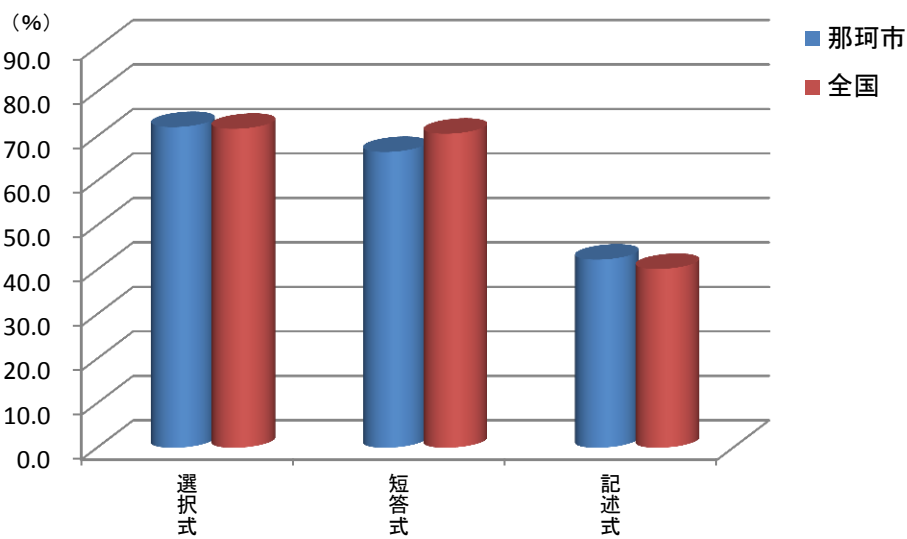
国語

(設問数14問)

【国語】学習指導要領の領域における全国との平均正答率の差



【国語】問題形式ごとの全国との平均正答率の差



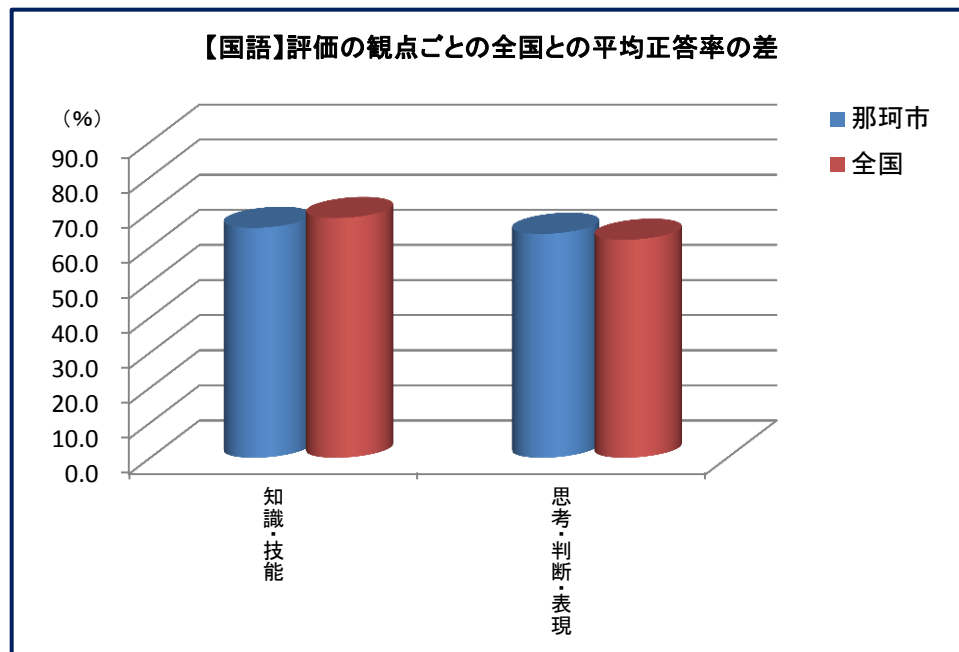
【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>をご覧ください。

令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校：教科に関する現状〉

小学校

国語

(設問数14問)



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>をご覧ください。

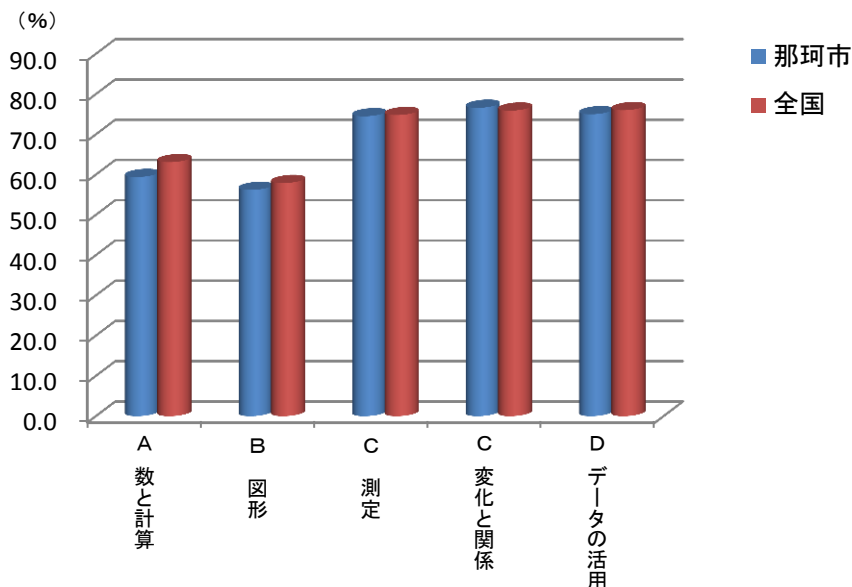
令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校：教科に関する現状〉

小学校

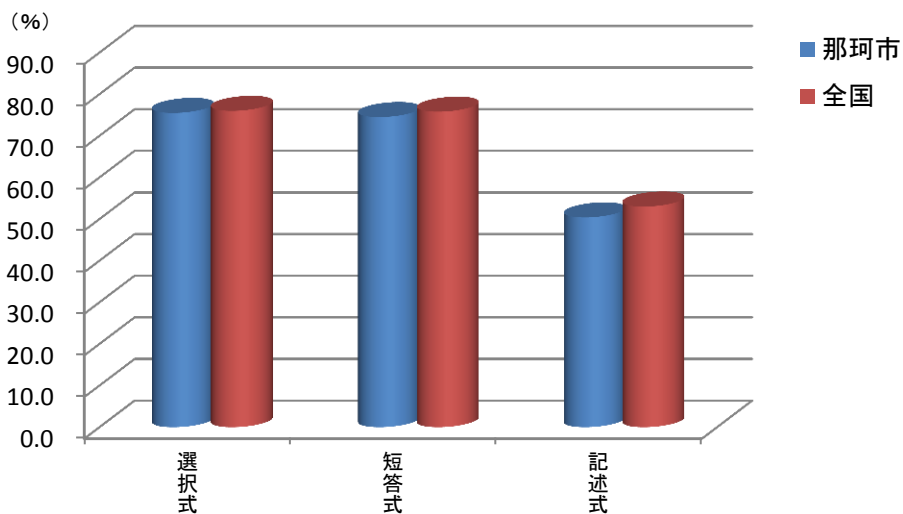
算数

(設問数16問)

【算数】学習指導要領の領域における全国との平均正答率の差



【算数】問題形式ごとの全国との平均正答率の差



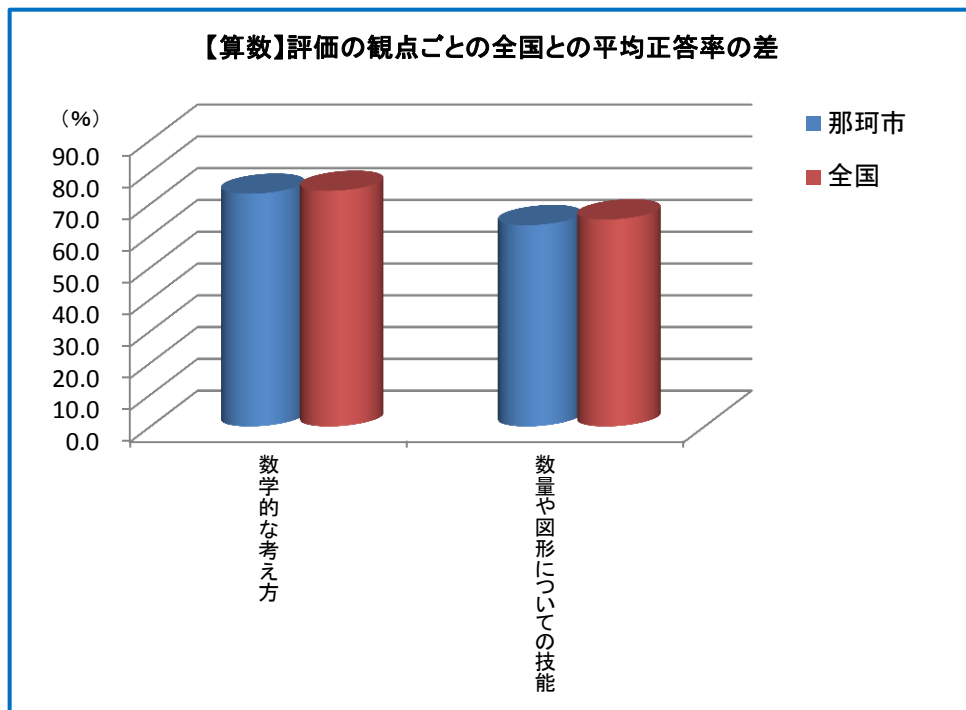
【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>をご覧ください。

令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校：教科に関する現状〉

小学校

算数

(設問数16問)



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>をご覧ください。

令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈中学校:教科に関する現状〉

○ 各分野ごとの問題の領域

⇒ 各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

【国語】

- ・「話すこと・聞くこと」
- ・「書くこと」
- ・「読むこと」
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

【数学】

- ・「数と式」
- ・「図形」
- ・「関数」
- ・「資料の活用」

○ 問題形式

⇒ 選択式、短答式、記述式の3種類が出題されている。

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【各領域及び問題形式の主な成果と課題】

- ◇ 国語の「読むこと」の領域で成果が見られる。
- ◇ 国語の「記述式」の問題形式で成果が見られる。
- ◇ 数学の「資料の活用」の領域で成果が見られる。
- ◇ 数学の「選択式」の問題形式で成果が見られる。
- ◆ 数学の「図形」の領域で課題が見られる。

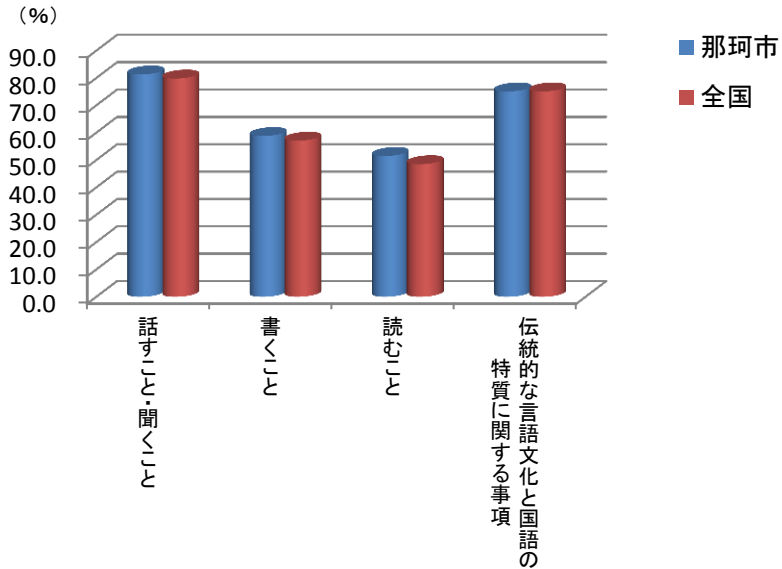
令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校：教科に関する現状＞

中学校

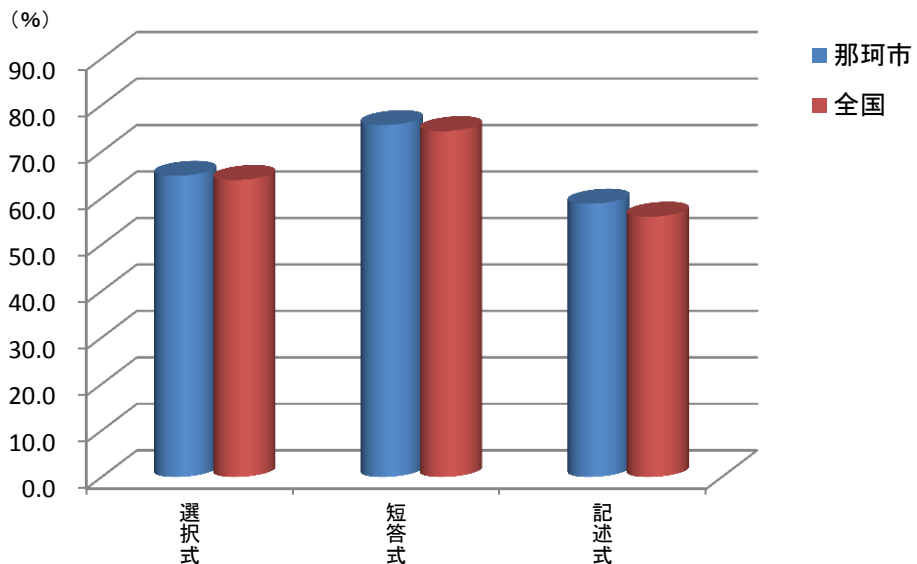
国語

(設問数14問)

【国語】学習指導要領の領域における全国との平均正答率の差



【国語】問題形式ごとの全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>をご覧ください。

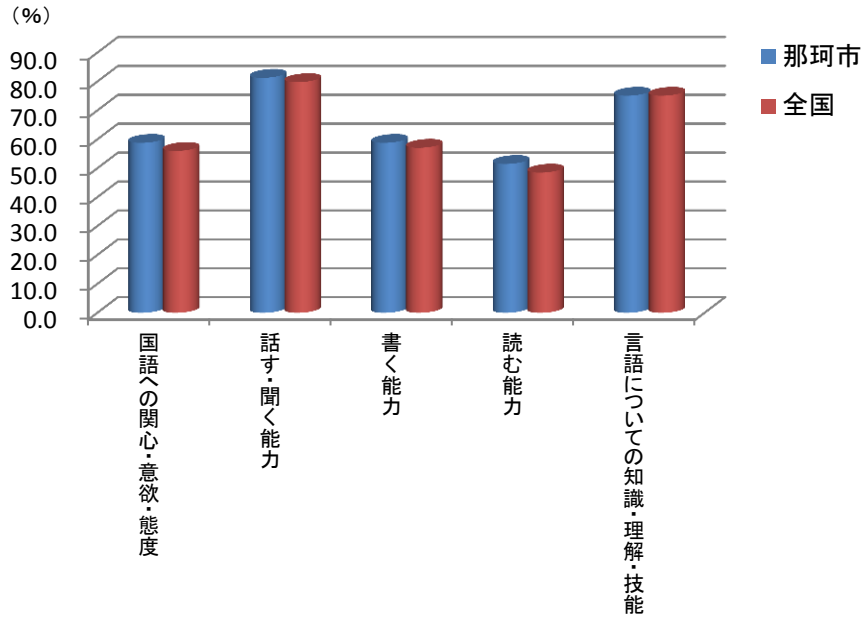
令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校：教科に関する現状＞

中学校

国語

(設問数14問)

【国語】評価の観点ごとの全国との平均正答率の差



【参考】

実際の問題は、国立教育政策研究所

<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>をご覧ください。

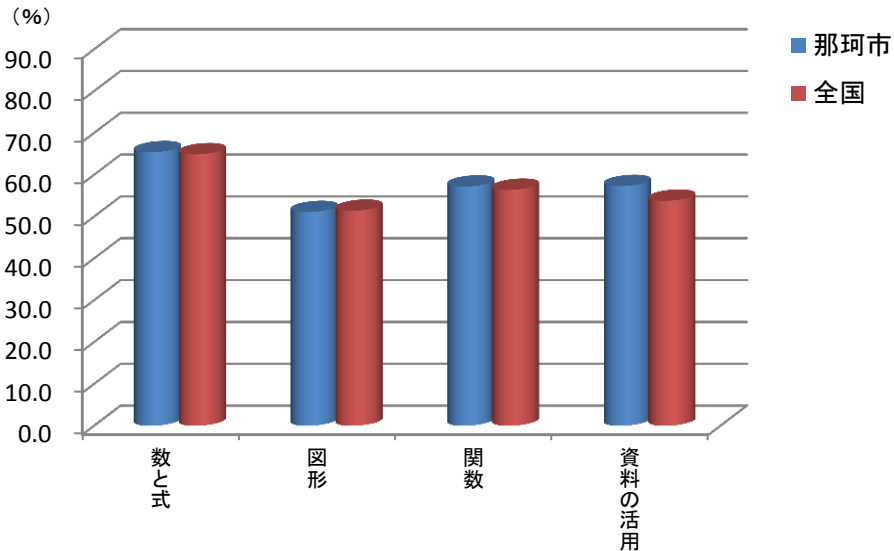
令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校：教科に関する現状＞

中学校

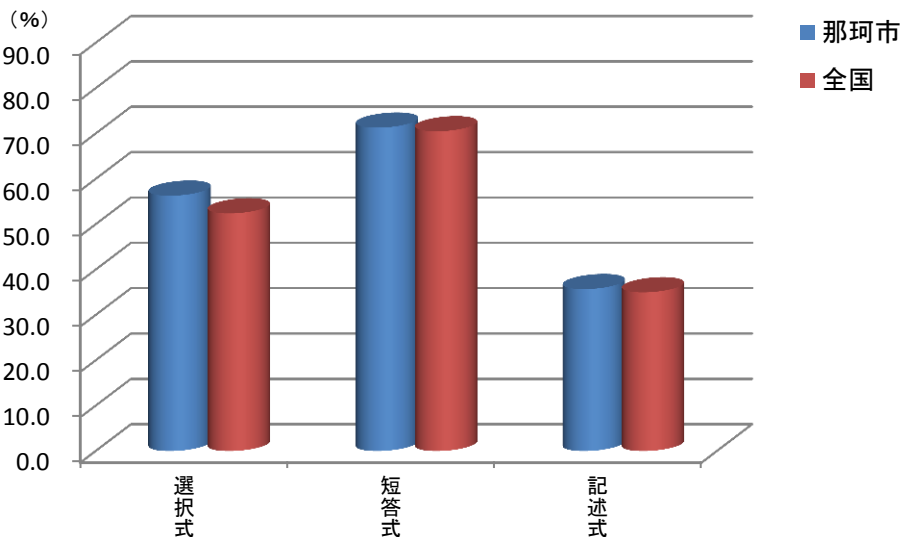
数学

(設問数16問)

【数学】学習指導要領の領域における全国との平均正答率の差



【数学】問題形式ごとの全国との平均正答率の差



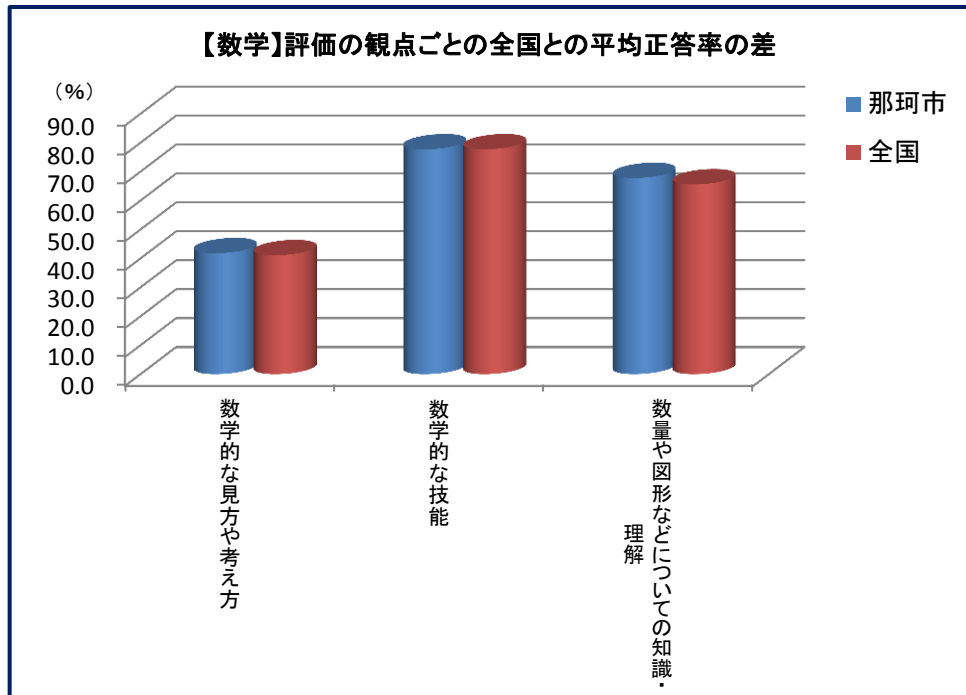
【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>をご覧ください。

令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校：教科に関する現状＞

中学校

数学

(設問数16問)



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>をご覧ください。

令和3年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年438人、中学3年439人】>

◇基本的な生活習慣における全国との比較(参考:茨城県)

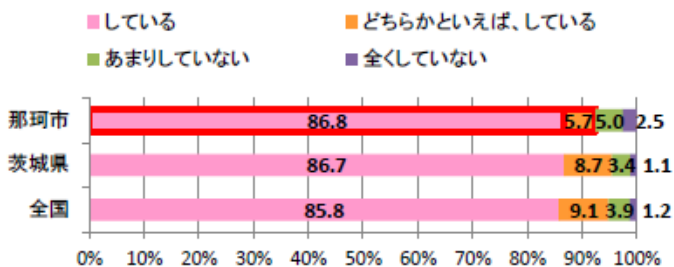
※「している」「どちらかといえば、している」の割合(%)で比較。

小学校

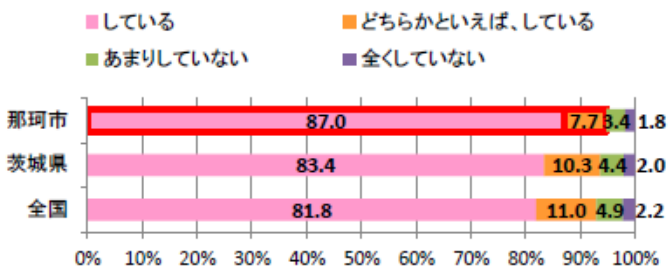
中学校

◇「朝食を毎日食べていますか。」については、全国と比較すると小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

Q:朝食を毎日食べていますか。

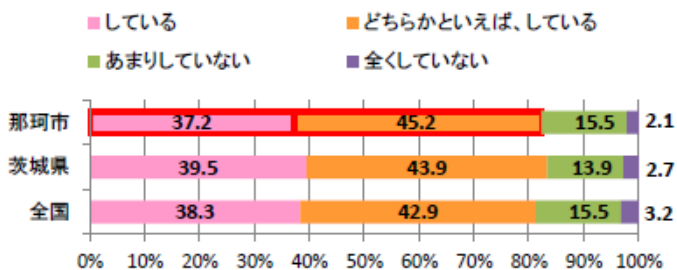


Q:朝食を毎日食べていますか。

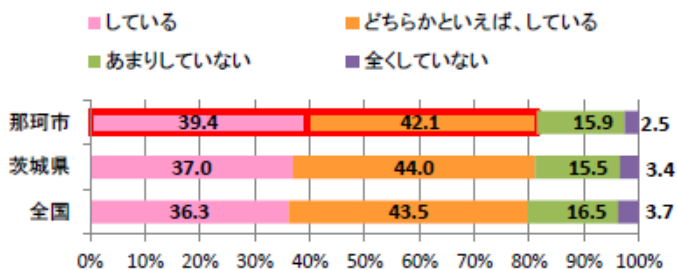


◇「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

Q:毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

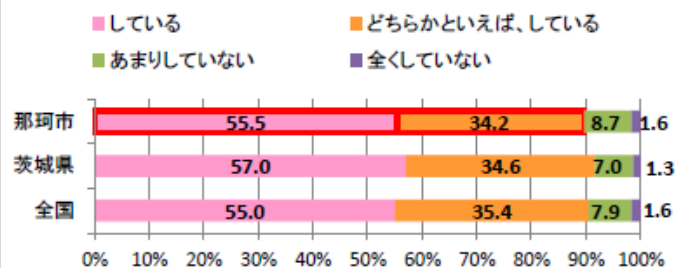


Q:毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

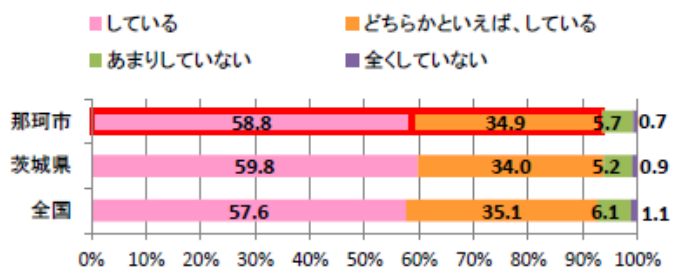


◇「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

Q:毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



Q:毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



令和3年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年438人、中学3年439人】>

◇自尊感情における全国との比較(参考:茨城県)

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合(%)で比較。

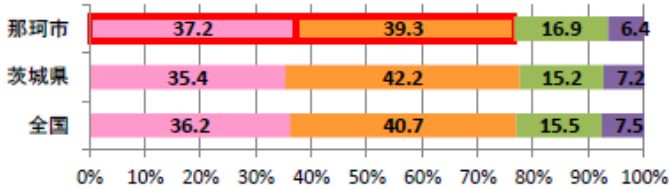
小学校

中学校

◇「自分には、よいところがあると思いますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

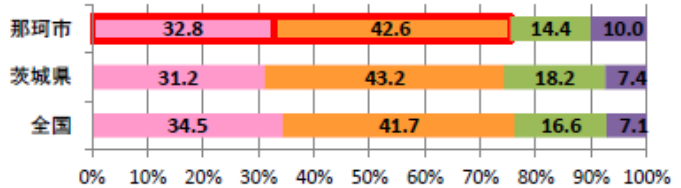
Q:自分には、よいところがあると思いますか。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



Q:自分には、よいところがあると思いますか。

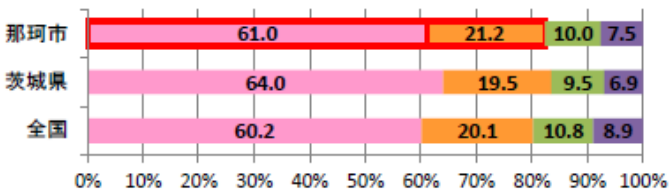
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



◇「将来の夢や目標を持っていますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

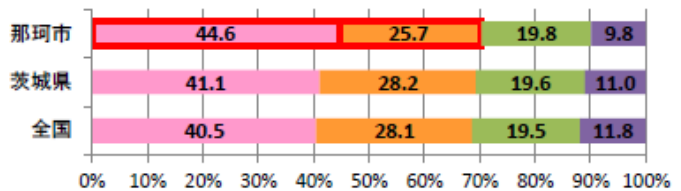
Q:将来の夢や目標を持っていますか。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



Q:将来の夢や目標を持っていますか。

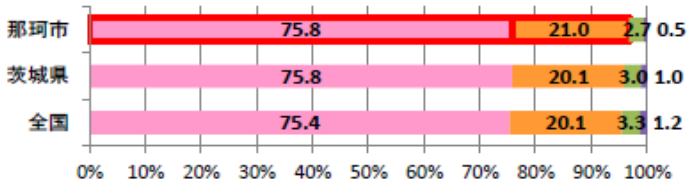
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



◇「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

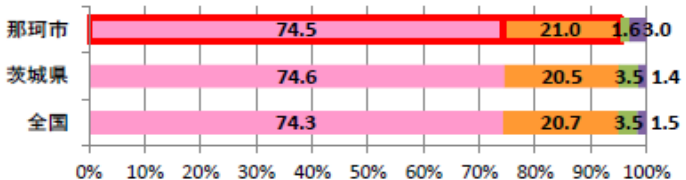
Q:人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



Q:人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



令和3年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

＜児童生徒質問紙に関する現状【調査対象：小学6年438人、中学3年439人】＞

◇ICT機器を用いた学習における全国との比較(参考：茨城県)

※上・中段＝「ほぼ毎日」「週1回以上」の割合(%)で比較。

下段＝「役に立つと思う」「どちらかといえば、役に立つと思う」の割合(%)で比較。

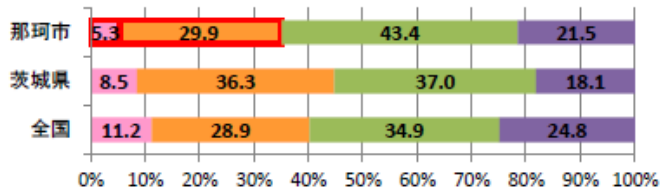
小学校

中学校

◇「5年生まで(※ 中学校は『1、2年生のとき』)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」については、全国と比較すると、小学校はやや低い傾向、中学校は低い傾向が見られる。

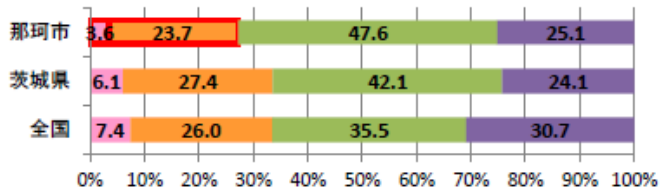
Q:5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

■ほぼ毎日 ■週1回以上 ■月1回以上 ■月1回未満



Q:2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

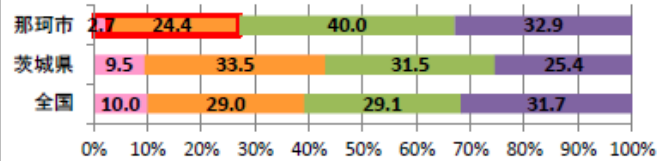
■ほぼ毎日 ■週1回以上 ■月1回以上 ■月1回未満



◇「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達(※ 中学校は『生徒』)と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに低い傾向が見られる。

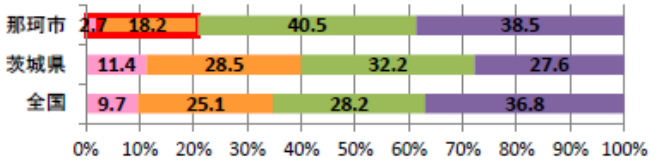
Q:あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。

■ほぼ毎日 ■週1回以上 ■月1回以上 ■月1回未満



Q:あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。

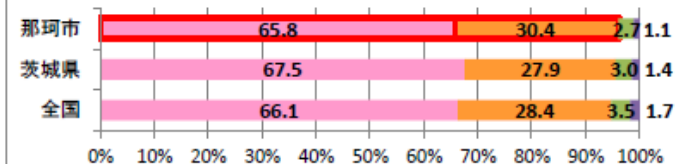
■ほぼ毎日 ■週1回以上 ■月1回以上 ■月1回未満



◇「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

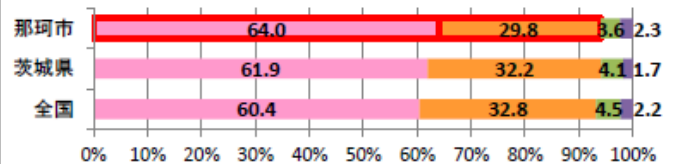
Q:学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

■役に立つと思う ■どちらかといえば役に立つと思う
■どちらかといえば、役に立たないと思う ■役に立たないと思う



Q:学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

■役に立つと思う ■どちらかといえば役に立つと思う
■どちらかといえば、役に立たないと思う ■役に立たないと思う



令和3年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年438人、中学3年439人】>

◇コロナ禍における学習や生活における全国との比較(参考:茨城県)

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合(%)で比較。

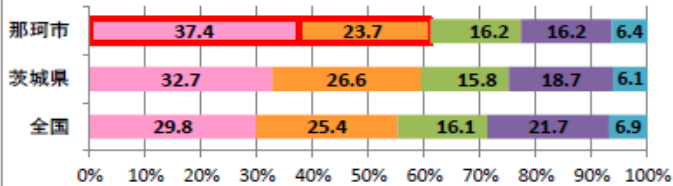
小学校

中学校

◇「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに高い傾向が見られる。

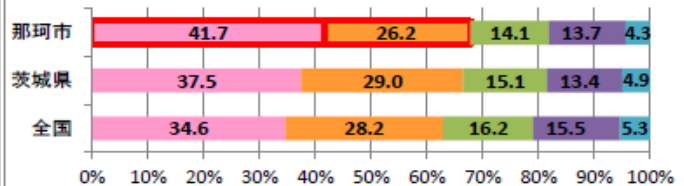
Q:新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない
■ 思い出せない



Q:新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。

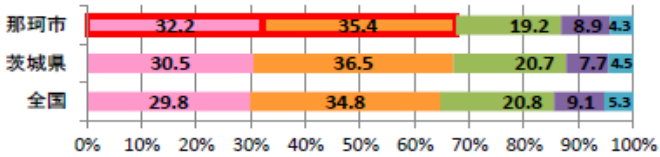
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない
■ 思い出せない



◇「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともにやや高い傾向が見られる。

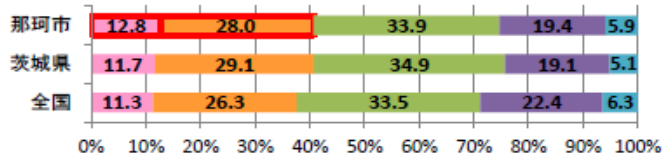
Q:新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない
■ 思い出せない



Q:新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。

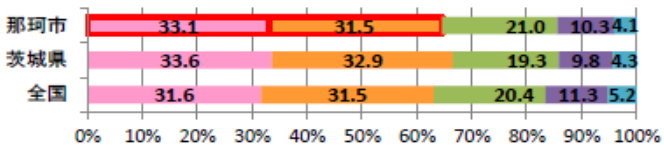
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない
■ 思い出せない



◇「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

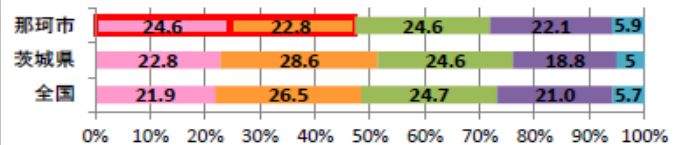
Q:新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない
■ 思い出せない



Q:新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない
■ 思い出せない



令和3年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の改善方策について

那珂市教育委員会

結果から見えてきた課題の改善方策について

○小中学校が「授業」で継続して取り組んでほしいこと

- ◇全国、茨城県、那珂市の調査結果と自校の調査結果を比較・分析し、課題を明確にした上で授業改善を行う。
- ◇課題設定の方法や学習形態を工夫することで、児童生徒が主体的に学習課題へ取り組めるようにする。
- ◇授業や単元終末の振り返りの時間を大切にし、児童生徒が「何を学んだか」「何ができるようになったか」を確認できるようにする。
- ◇文部科学省が示している「授業アイディア例」を参考に、課題となっている領域や分野を改善できるような授業を構想する。
- ◇1人1台端末を効果的に活用し、個に応じた多様な指導方法及び指導体制の工夫改善を図ることで、資質・能力の確実な育成を図る。

今後の更なる学力向上に向けた改善方策について

○教育委員会から発信していくこと

- ◇小中一貫教育の特性を生かし、「学ぶ力」と学んだことを「生かす力」の習得を図っていける授業づくりが実現できるよう支援していく。
- ◇「学力向上研修会」「那珂市EdTechプラン推進研修会」等を通し、児童生徒の資質・能力を育成する授業づくりが実現できるよう支援していく。
- ◇ICT機器を効果的に活用し、個別最適な学び、協働的・探究的な学びを創出している授業の実践例を紹介し、市内の学校で共有が図れるよう支援していく。